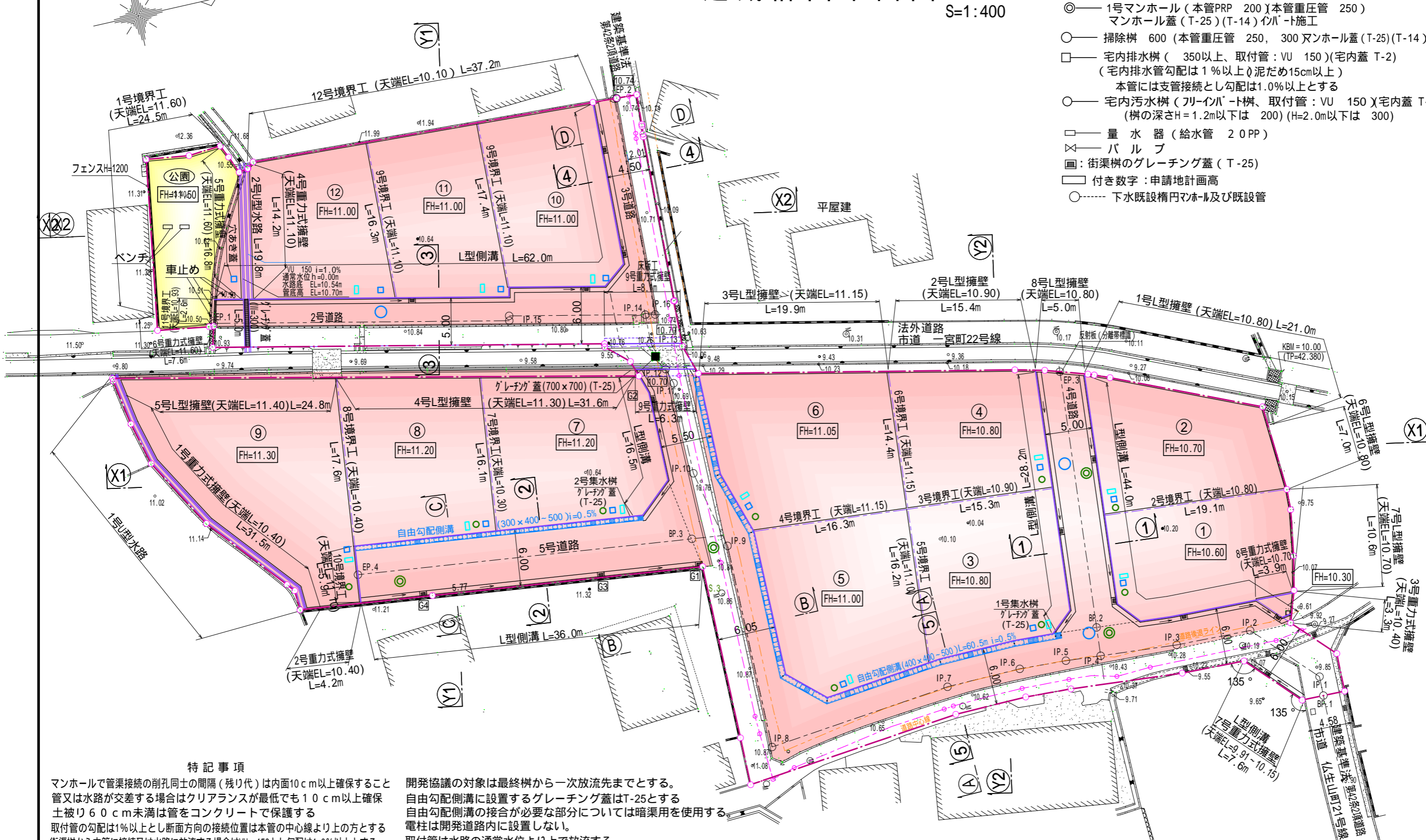


造成計画平面図

S=1:400

凡例

- ◎ 1号マンホール (本管PRP 200) (本管重圧管 250)
マンホール蓋 (T-25) (T-14) イバート施工
- 掃除機 600 (本管重圧管 250, 300) マンホール蓋 (T-25) (T-14)
- 宅内排水樹 (350以上、取付管: VU 150) (宅内蓋 T-2)
(宅内排水管勾配は1%以上) 泥だめ15cm以上
本管には支管接続とし勾配は1.0%以上とする
- 宅内汚水樹 (フリーバート樹、取付管: VU 150) (宅内蓋 T-2)
(樹の深さH=1.2m以下は 200) (H=2.0m以下は 300)
- 量水器 (給水管 20 PP)
- ⊗ パルプ
- 街渠樹のグレーチング蓋 (T-25)
- 付き数字: 申請地計画高
- 下水既設構円マンホール及び既設管



特記事項

マンホールで管渠接続の削孔同士の間隔 (残り代) は内面10cm以上確保すること
管又は水路が交差する場合はクリアランスが最低でも10cm以上確保
土被り60cm未満は管をコンクリートで保護する
取付管の勾配は1%以上とし断面方向の接続位置は本管の中心線より上の方とする
街渠樹から本管に接続又は水路に放流する場合はVU 150とし勾配は1.0%以上とする
取付管は水路の通常水位より上で放流する
宅内の水が道路に流出しないように、勾配は宅内樹に向けて整地する。
本管上での取付間隔は1m以上とする
予定建築物は1戸建ての住宅とする
塩ビ管 (PRP) を使用する場合はマンホール可とう継手を使用する
宅内排水管の土被りを20cm確保すること
開発区域外の土地において、本開発許可により完了公告した

開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
自由勾配側溝に設置するグレーチング蓋はT-25とする
自由勾配側溝の接合が必要な部分については暗渠用を使用する
電柱は開発道路内に設置しない。
取付管は水路の通常水位より上で放流する
地表水及び排水を集水する樹は泥溜を15cm以上確保すること
開発区域内の法定外水路については、構造のみ審査対象とする。
放流の同意については、管理者と十分に協議を行うこと。
開発区域に隣接して本開発許可の完了告示日から1年内の開発行為を行う場合
及び本開発区域内の公共内の公共施設を変更する場合、建築指導課と協議すること
構造物を設置しない開発区域界には、境界標識を設置すること

所在	高松市仏生山町字大塚
図面名称	造成計画平面図 縮尺 1:400
作成年月日	令和6年5月9日
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広